

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
・理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
・サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	医療法人 昭和会 グループホーム新地
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	長崎県長崎市新地町6番3号
記入者名 (管理者)	平野 博子
記入日	平成 20年 11月 1日

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		住み慣れた地域の中で、安心した暮らしのご提供が出来るように、入所者おひとりおひとりのニーズにあった家庭的で過ごしやすい環境を提供し、地域の一員として関わりあうことを理念としてあげております。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		当グループホームも3年目に入り、再確認として研修を行い、職員一人一人が再確認しており、日々の実践に活かしております。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		事業所のパンフレットに理念を解りやすく明記し、多くの方々に理解が得られるようにしております。また、ご家族等やチーム全体(自治会、家族会、運営推進会議、ボランティア、その他医療関係者)でも確認できるように事業所内でも表示しております。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		当グループホームにおいては、自治会に入っている為に、自治会の方のご協力もあり、催しなどの案内もいただき出来る限り参加をしております。また、グループホームを知っていただく上で、行事や勉強会などのご案内を差し上げております。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		自治会の班長をしており、回覧板や広報誌の配布時など挨拶を行ったり出来る範囲での自治会などの催しの参加をしております、買い物や散歩時に交流を深めたりもしております。また、包括支援センター職員の方や近隣の方を交えての施設内での勉強会も行っております。
			現在、自治会の仕事もさせていただき会合にも出席しております。今後も、地域の方との交流を深めて行きたいと考えております。
			今後も現任及び新人職員にも、理念をしっかりとらえて支援していけるように、日々取り組んで行きたいと思っております。
			グループホーム新地としての理念の提供を地域の人々に判りやすく、機械があることに浸透して行きたいと考えております。
			今後も自治会や近隣の方との交流を深める為の検討を行っていきます。
			立地環境も街中にあるために、長崎市の行事と地域の方との行事も同じで、出来る限り参加させていただいております。ランタン祭やおくんち、居留地まつりなど今後も楽しみにしております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	まずは地域の高齢者の方々との交流が出来るように努めております。また、市民大清掃の参加や各自治会への行事や勉強会の案内など、自治会の方のご協力にてご参加のお願いなど行っております。経営者研修や大学生の研修生の受け入れなど行い、少しでも人材育成の貢献にお役に立てるようにと努力しております。		今後も地域の方との交流を行っていただけるように職員スタッフと検討していく所存です。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は半年に1回行い、管理者や職員全員で話し合い、また結果など運営者にも報告を行い、検討や改善など行う事で自発努力を行っております。		月に1回のグループホーム会議を行い、ボランティアや研修生の受け入れを行う事で外部からの意見も大切にしております。また、外部評価を受ける事によって、改善や提言をいただき、グループホームの質の向上につなげています。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議によって、地域包括支援センター職員の方や自治会の方、地域の方、ご家族の方などのご参加により、諸問題の解決や問題提議など貴重なご意見をいただき、入所者の方々によりよいサービスの提供が出来るように活かしております。また、時には、行事の参加や家族会と一緒にいたりして、開かれたグループホームを目指したいと思っております。		外部の方からの率直なご意見を伺ったり、一緒に問題解決など行ったりと、グループホームにとってかけがえのない存在で大変ありがたく思っております。今後も今より、少しでも向上していくグループホームを目指したいと思っております。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	長崎市福祉保健部からは、介護保険事業者に対する集団指導が2回あり、指導監査や事業所指定、消防法令などグループホームの倫理や地域との連携などについて、多くの情報をいただけるように毎回出席しております。また、グループホーム連絡協議会を通して質の向上に取り組んでおります。		不明の点などは、市町村担当者にお聞きしております。また、運営推進会議や連絡協議会など、連携協力して今後も質の向上に取り組んでいきたいと思っております。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	平成20年度グループホームのご家族の会でも、地域包括支援センター職員の方を講師に御呼びいたしまして、権利擁護についても勉強会を地域の方も交えて行いました。今後も個々の状況にあわせて必要である場合は、活用支援を行っていきます。		現在、権利擁護を検討している入所者の方もいらっしゃいますので、今後も継続して支援を行って行きます。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止については職員は研修会に参加をしており、決して起こらないように全員が理解し注意をしております。また、ヒヤリハット事故報告を提出し、会議など開催し、事故が未然に防げるように対策をとっております。また、虐待防止についてのマニュアルも作成しており何時でも誰でも閲覧できるようにしております。		職員はもとよりご家族の方も虐待については、理解が必要であると考え、今後も家族会や勉強会を通して理解を深め、誰でもお互いに口を閉ざさないように、細心の注意や理解を今後も継続して行きます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約に関しては、入所までにグループホームの見学に来ていただきご利用者も含め安心して生活出来るように支援を行っています。また、入所前にはアセスメントを行い、契約書や同意書などの説明を行い、話し合いの場をもって不安点や疑問点など確認しながら行っております。また、退所に関しても入所時に説明を行い、入所者やご家族との話し合いにてご理解納得していただき退所にいたっております。</p>	<p>現在までに、ご入所時やご退所時など問題発生には至っていませんが、ご不安やご心配など抱えているご家族の方が多くと考え、ご入所者やご家族其々の状況に応じて、出来る限り詳細に説明をしていきたいと考えております。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご入所者の方の意見や、不満、苦情に関しましては、定期的にカンファレンスを行ったり、各担当職員が意見を聞き、管理者や代表者に声が届くように配慮しております。代表者に関しても、月に1回はグループホームを訪れ直接話など行っております。</p>	<p>職員と一緒にお茶を飲んだり、外出時に話しやすいように個別で買い物や散歩に行ったりと職員に話しやすい雰囲気を保っております。また、ご家族からご入所者の方のご意見など伺ったりして今後も継続して行きたいと考えております。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族の方の面会が多く、訪問されたときに状態や状況に応じてお話をしたり、必要時はお電話にて報告を行っております。また、広報誌を通してグループホーム内の状況がわかるようにしております。10月には、ご入所者の方やご家族の方と職員との懇談会を開催いたしました。金銭管理につきましては、訪問時に預かりしております小口現金帳など確認をしていただき、月に1度領収書と出納帳のコピーを郵送しております。</p>	<p>ご入所者の方、お一人お一人の担当者がおりまして、其々が担当して支援をさせていただいておりますが、ご家族の方に担当者の説明を行っておらず、ケア会議の時に始めて担当者であったことを知られた方も多いために、10月にご入所者の方やご家族の方と職員との座談会を計画し、日頃の状況やご入所されるまでの状態やご入所者やご家族の方々の意向など開催いたしました。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご利用者やご家族が意見やご不満、苦情等に関して、グループホーム内に設置しております「ご意見箱」に無記名で投函できるようにしております。また、入所時の契約書の中にも苦情処理先や方法など明記して説明を行っております。そのほかにも、運営推進会議でご家族の代表者も参加してご意見を外部の方にも向けられるように運営に反映できるように多くの機会をもうけております。</p>	<p>多くの機会を設ける事が出来るようにしておりますが、なかなか意見が出ないために、時にはグループホームの広報誌の中にも「ご意見書」を同封したりしている</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1回の定例会議に管理者も同席しており、代表者にもその報告を行い、職員の意見が反映できるように努めております。また、意見や提案に関しましては、其々の担当者を決め計画実行しており、代表者や管理者も周知しております。</p>	<p>職員の意見や理念が統一できるように、7月に在宅部長交代、職員と話し合いを行い、よりよいサービスが提供できるように努力しております。また、職員と代表者や管理者がお互い信頼関係が保てるように、話す機会を設けております。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>入所者が望むレクリエーションや散歩、外出など、毎月のシフトについて職員が入り勤務票を作成しております。また、要望に応じて臨機応変に対応できるように、職員の人数の調整を行っており余裕がある人員配置にしております。また、業務内容の改善など検討し実行に当たる場合は、勤務時間の調整や人員などの調整を会議を設けて決定・モニタリングなども行っております。</p>	<p>職員の精神的問題や各自の事情に応じて、話し合いの場をも設けて対応しております。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の移動につきましては、努力はしておりますが止むを得ない状態もあり、出来る限り負担が少ないように、残った職員が対応しております。また、ご家族へも職員が交代の際には必ず機会を設けて、説明や挨拶など行い安心していただけるような努力をしております。</p>	<p>職員との面談を年に1回設けたりして、職員の意向や目標など話し合っており、管理者と職員の関係が損なわれないような工夫をしております。また、職員の移動によって入所者の方のダメージが大きくなるような工夫をしております。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月に1回の会議において、研修会の報告や勉強会を行っており、外部の研修会の参加が出来るように、外部の研修資料の提供を行い希望を募っております。一部の職員のみ自己研鑽するのではなく、知識や情報の伝達を行い、質の向上に努めております。</p>	<p>新人教育や病棟研修など必要時に応じて期間なども設定しておりますが、他のグループホームとの連携をとり、見学など行いたいと思っております。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>長崎県や長崎市のグループホーム連絡協議会があり、それぞれのグループホームとの交流を行い、研修会など質の向上や運営についてのことなども同業者として協力や連携をとっております。また、会議も管理者だけではなく職員も参加できるようにしており、研修会の参加なども予定しております。</p>	<p>グループホーム連絡協議会の参加によって、お互いの情報交換やレクレーションを通してのリフレッシュなど人材育成にも役に立っております。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員の理念を再検討して、やりがいのある職場を目指し、モチベーションアップに努めております。行事やレクレーションなど職員も楽しめるような企画を提案したり、職員一人一人の思いを大切に出来るように運営者は、取り組んでおります。</p>	<p>職員の休憩時間が確保され、休憩時間はゆっくりと出来るようになりました。出来る限り職員が、やりがいのある職場で働けるように運営者は検討しております。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>1年に1回は定期的に個人面談を行い、現在の事や将来の事など自分自身を見つめなおし、やりがいがあるような職場づくりに努めております。また、必要時は再三個人面談を行い、早期に問題解決できるような努力を行っております。</p>	<p>職員一人一人目標を持っており、そのことに向かって毎日仕事をしております。就業規則などに沿って、勤務体制を行っておりますが、健康診断など定期的に行い、身体面からの状態も継続して支援して行きます。</p>
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>初回面接において、入所予定者とその家族の方などから、ご本人やご家族が望む生活を自ら見出せるようにしております。また、入所までに御不安などあれば、再度見学や話し合いなど、その方々に合った方法で臨機応変に対応しております。</p>	<p>初回面接や見学にて、ご本人やご家族の意向や不安、求めていることなど、十分に聴くことは難しいと思います。個人個人により方法は異なりますが、ご入所者のみ、ご家族のみの面談を行う事で本音を話して下さったりする為に、おひとりおひとりに合った方法を見出す努力をいたしております。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>初回面接において、入所予定者とその家族の方などから、ご本人やご家族が望む生活を自ら見出せるようにしております。また、入所までに御不安などあれば、再度見学や話し合いなど、その方々に合った方法で臨機応変に対応しております。</p>	<p>初回面接や見学にて、ご本人やご家族の意向や不安、求めていることなど、十分に聴くことは難しいと思います。個人個人により方法は異なりますが、ご入所者のみ、ご家族のみの面談を行う事で本音を話して下さったりする為に、ニーズに沿って情報提供したりと方法を検討しております。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容によっては、医療での対応が必要だったり、その情報が必要だったりすることがあります。そのための判断材料として、かかりつけ医と相談したり、包括地域支援センターや介護支援専門員からの情報も含めて対応しております。また、必要に応じて他のグループホームの紹介や特別養護老人ホーム・老人保健施設、療養病床や養護老人ホームなど必要な情報を提供しております。		ご家族は、不安感や罪悪感など持っておられます。少しでもその不安感が解消できるように支援を継続して行きたいと考えております。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前は、出来る限りご入所者も含め見学していただいております。職員や他の入所者や環境など確認していただくことで、少しでも納得して楽しみにしていただけるようにしております。必要時は、見学体験なども行っております。		住所変更されている方もおり、今後の生活の場として、不安を解決してご入所いただいております。入所退所を繰り返す事で、環境の変化によって病状の進行が起こりうる為に、納得いただいての入所が出来るように、今後も支援して行きます。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入所者の方は、グループホームは家庭であり、職員はその手助けとして支援をさせていただいております。職員も家族の一員として、入所者の方に教えていただいたり、一緒に楽しんだり、色々な事を一緒に考えたりと、支援するばかりでなく協働しながらの関係を保っております。		ご入所者の方が安心して生活出来るように、ご入所者の方に寄り添って生活していく事が大切だと思います。今後もお互い信頼しながら、ともに喜怒哀楽をともにして、お互いが支えあえるような関係を保って生きたいと考えます。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の方の面会が多く、職員も電話や訪問時に情報交換など行っており、ご家族の不安や心配の解消に努めております。入所申し込み時からやむなく入所させるご家族の心情など、職員も共感や理解をしており、ご家族の方も一緒にグループホームの家族の一員として取り組んでおります。		出来る限り親子の絆を大切にしようと、何かあるたび行事ごとと呼びかけをして参加していただき、ともに楽しんだり喜んだり、また家族会として勉強会を設けて、職員も一緒に学んだりしており今後も今以上に取り組みたいことの一つです。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	広報誌にて日常のことや報告など、ご家族にお知らせしたり、面会時やお電話の時に状態の報告を行ったり、お互いの情報交換に努めております。また、行事などにお誘いしてご本人とご家族の関係を深めていくなどの努力を行っております。		ご家族のご協力が多く、行事のご参加もいただいております。ご入所者、ご家族、職員お互いの信頼関係を深める上でも、継続して行きたいと思っております。また、11月初めには茶話会を3者で行う予定にしております。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	美容室に行くために外出したり、ご友人や知人などの訪問があったりしております。また、入院中に同室であったご友人が同施設内のデイサービス通所時にあったりと、出来る限り馴染みの関係を続けております。		来年開設して3年目に入りますが、ご友人や知人など開設時と変わらずに来所されております。今後も来所される方にとっても良きグループホームといわれるように努めて行きたいと思っております。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご入所者の方の関係性を保つ為に、職員よっての調整や環境調整によって改善が出来るように努めております。また、ご入所者の方の情報が職員に共有化できるように対応しております。		生活の場での人間関係の崩壊は、精神的にもまた病状にも悪影響を及ぼす事は確かです。ご入所者同士が、そのような状態にならないように、今後も職員が適切な配慮を行いながら支援をしていきたいと考えております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	在宅での生活に変更する場合は、介護支援専門員への連絡や報告を行い、継続したサービスが受けられるような支援を行っております。また、他施設への入所に関しましてもお互いが協力できるように連携をとっております。		在宅からグループホームへ、グループホームから在宅や施設へと移行する場合は、今後も連携をとりながら継続した医療や介護などの支援がスムーズに受けられるような支援体制をとって参ります。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人が望む生活が提供できるようにご入所者に寄り添いながら、ご家族などからもアセスメントを行い、希望や意向など把握できるようにしております。入所後も、話しやすい環境作りを行い、情報収集や情報の共有化に努めており、入所者本意の生活に近づけるような取り組みを行っております。		入所前のアセスメント、ご本人のみ、ご家族のみのアセスメントなどの収集に努め、適宜カンファレンスを行い、ご入所の方に寄り添えるような努力をしております。また、職員の質を高める事も継続して行って行きたいと考えております。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前にアセスメントなどを行い、これまでの生活などの把握を行っておりますが、入所後などの会話の中やご家族、ご友人などと一緒に話すことでご本人の生活歴や暮らし方、生活環境などの把握に努めております。		ご本人が望まれる生活が何なのか、是までの生活歴を把握する事は重要な手がかりになってきます。あわせて、以前の生活を知りこれからのご本人が希望する生活をご家族と一緒に考えて行きたいと思っております。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ご入所の方の基本的な暮らし方については決まっておりますが、其々に余暇の時間を折り紙や絵を描いたり、自室でビデオを視聴したり、自室で横になられたり、外出されたい方はご家族や職員と出かけております。心身の状況を判断し総合的に支援をしております。		ケアプランに沿っての支援を行っておりますが、あくまでもご本人が望む生活の探求にありますので、情報収集に努め職員間のカンファレンスなど通して検討していき、ご入所の方のストレングスを引き出せるように努力していきます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントは特に重要視しており、ご入所されてからも、ご本人の意向の確認後、ご家族からの情報、介護職や看護職からの情報収集に努め介護計画書を作成しております。また、ケア会議を行うことで、お互いの情報や意見など反映しながら目標の設定を行っております。		現在、ご家族の会発足後茶話会として、ご本人やご家族の方と担当職員の情報交換の場を設け、ご本人やご家族の方と身近に居る事でより具体的な目標設定が出来ること感じております。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	現在、月に1回のモニタリングを通してご利用者の状態や満足度などの確認を行っております。また、状態変化時などはご家族に連絡し、その状況に応じての再アセスメントや再介護計画書の立案を行っております。		朝からの朝礼により、ご入所のかた一人一人の報告を行い、必要時はカンファレンスを開催しております。また、ご家族の方の訪問時に話し合ったりしており、現状に即した計画が出来るように努めております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご入所者お一人お一人の日々の記録は、其々の勤務に沿って記載しております。バイタルサイン等の健康状態の記録、看護記録、食事や排泄状況、表情や言葉などの精神面での内容など記録を毎日記載しており、其々の勤務帯でも再確認や以前の情報などの収集にも役立てるようになっており、実践や介護計画に反映されるような工夫をしております。		個人ファイルに関しては、職員が何時でも確認や記録が出来るようにしております。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	出来る限りご入所者やご家族の意向に沿えるようにしております。また、事業所にて対応困難な場合は、サービス事業所などの情報の提供や相談などにも応じております。		グループホームも居宅であり、自分自身の自宅に居るような環境に近づけるように出来る限りご要望には応じて行きたいと思っております。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議のメンバーに、地域の住民の方や自治会の方、地域包括支援センターなどの行政の方にご協力いただいております。また、消防訓練においては地域の消防団の方に来ていただきご指導を受けたりご協力いただいております。ボランティアの方や教育実習の一環としても学生の受け入れなどを行っております。		多様なサービス資源としても今後も協働して行きたいと考えております。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	介護支援専門員の連絡協議会など、地域の介護支援専門員と交流する場があり、他のサービスの情報や会を通して、必要なサービスの開拓などの手助けなど協力いただいております。行政だけでなく民間の事業所からも支援していただいております。		ご入所者が望む支援サービスが提供できるように、行政や民間の事業所などとも連携をとえ、また他の介護支援専門員からの情報や相談など協働いただいております。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加いただき、多くの助言をいただいております。ご家族の会に、人権や権利擁護の講話をしていただき、本人やご家族、地域の方にも有意義な時間を持ったりと地域包括支援センターの方にご協力いただいております。		地域包括支援センターなど地域を通して、行政や他事業所などとの連携をとっております。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入所前からのかかりつけ医の継続を行っております。また、ご本人やご家族が希望した医師に月に1回の往診を受けております。内科医以外にも、眼科や歯科など往診を依頼したりもしております。常勤の看護師により、常に医師との連携をとっております。		母体が病院ですが、出来る限り馴染みの医師が診療できるように支援をさせていただいております。また、その医師とも連携をとり服薬や指導、治療内容など看護師による管理が出来ております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	月に1回、主治医が往診し状態の把握や指示により、職員と連携をとりながら支援させていただいております。また、認知症の専門医受診時に、同行し状態の報告や服薬など指示をうけたりと連携に努めております。		認知症が悪化したり対応などに困難になった際には、報告や相談など行い、医療とも連携をとりながら支援をさせていただいております。
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常勤の看護師によって、病状の把握や服薬管理など医療全般にわたって支援をしております。また地域の看護職との相談などは、同施設内の看護師に相談をしたりしております。		常勤の看護師により、時候にあった感染症や病気などの説明があったり、病状の変化時などの対応などの指示を職員に伝達したりしております。
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入退院時など医療機関との情報交換は行っており、治療や入院生活がスムーズになるような支援をおこなっております。入院中も看護師などが、状況把握の為に訪問したり、退院時は医療機関や地域連携室などとも協力を行っております。		病状の変化を早期に発見し、入院期間が長くならないように、ご入所の方が悪化しないように努めております。また入院した場合も医療機関との連携をとり、病状の把握、退院の時期などに留意しております。
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時に「重度化にかかわる指針」など書面にて説明を行い承認をいただいております。重度化や終末期なども、入所申し込み時にも説明を行っており、ご本人とご家族に対してどのような対応をとるべきか、ご家族や医師、職員などとも話し合いながら支援させていただいております。		重度化および終末時など、その時々で心情が変化していく為に、そのたびに相談を行いながら支援をしております。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご本人やご家族のお気持ちを優先できるように努力しております。施設内で出来る事出来ない事があるために、納得がいくように説明をしたり、主治医からも意見をいただいたりしており、状況の変化を見極めて支援をさせていただいております。		日々の状況などを、ご家族が訪問したときなどお話をさせていただいたり、病状の変化時すぐにご連絡を差し上げたりしており、ご入所されていても、ご家族の方が現状の把握が出来るように努めております。
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご自宅からホームへ、ホームからご自宅や他施設へ移り住む際など、ご入所者の方にとって大変な負担が生じる為に、関係者の十分な情報交換や留意点など、話し合いやケア会議などを通じて行っております。		ホームから他施設に移られる場合には、主治医からの診療情報提供書や介護や看護職員の情報提供書など書面でのやり取り以外にも、お互いに連絡を取りながら、移動に伴う心身の状況の悪化を少しでも防止できるようにしております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人の人間としての尊厳が保たれるように、誇りやプライバシーを配慮しながら支援が出来るように、マニュアルの作成をし職員は目を通しております。職員については、研修会参加を始め自己研鑽に勤めております。</p>	<p>職員一人一人の認識が重要であり、人間の尊厳に係りまた、病状の悪化にもつながる為に、自覚を持って対応しております。日々のカンファレンスや会議の中で、支援を見直したり見出したりしており、記録した書類に関しては、外部の人からの眼に触れないように個人情報を管理しております。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>ご入所の方の自己決定が出来るように、場面を設定したりしております。たとえば、買い物やレクリエーション、おやつや行事などの時の食事内容、お茶の時間の飲み物、散歩コースなど細かいことなど多くの場面で、ご本人の思いや希望が表出できるような支援をさせていただいております。</p>	<p>視力障害や聴力障害のある方でも、思いや希望が表せるように、詳しく説明したり、文字盤の利用や筆談を通して理解できるような支援を行っております。ただ表出出来ないことも多々あると思いますので、ご本人の表情や動作、反応を確認しながら行い、決して職員のエゴにならないように努めて行きたいと思っております。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ホームの基準的流れはありますが、ご本人のペースに会うように、ご本人の希望に添えるように、居室に戻ったり、昼寝をしたり、散歩に行ったりと出来る限り希望に沿いながら、自分の余暇が楽しめるような工夫をしております。</p>	<p>出来る限りご本人様の希望に添えるように、工夫をしております。今後も、ホームが望むことではなく、ご入所の方が望むホーム作りをしていきたいと考えております。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>起床時、ご本人が着る洋服など選んでもらったり、行事や外出の時は着替えたりお化粧をしたりと、日常生活にメリハリをつけて生活していただいております。またご本人が望む美容室に行けるように、ご家族の方とご相談をしたり、民間の美容師の方と協力して、身だしなみやおしゃれなどの支援を行っております。</p>	<p>季節に応じて衣類を選んだり、ご家族の方が持ってきてくれたりと身だしなみに関しては、関心があるようです。外出時も帽子やスカーフを選んだりしており、お一人お一人が関心が持てるような工夫や支援を行っております。外出時に、整髪などの身だしなみが自立できるように支援して行きたいと考えております。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事やおやつに関しては、入所者の方の楽しみであり、生活の意欲につながる為に、お茶の時間などは職員も一緒に席に着き一緒にお茶を楽しんでおります。ご入所者に合わせた、配膳や後片付けなど行っており、生活している実感を味わっていただいております。</p>	<p>自分で好きなものを選んで食べたり作ったりすることで、楽しく食事が出来る事を目標にしておりますが、現状はご入所の方が好きなおやつと一緒に作り食べていることが現状です。いまだ、バイキングや外食については実行できておりません。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>ご入所者の方と一緒に買い物に行き、好きなものを選んでもらったり、好きなものを一緒に作ったりして楽しんでおります。飲酒に関しては、現在のご入所者の方のご希望はなく行っておりません。</p>	<p>ご入所者の方の体調や病状、季節や時間などに合わせて、出来る限りご希望に沿うように努力して行きたいと思っております。飲酒や喫煙につきましては、希望者が入所された時に再検討して行きたいと考えております。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入院時から現在まで、排泄状況(時間・種類・方法など)の確認を行っており、排泄パターンにあわせた支援をしております。また、排泄パターンを知ること、日中は布下着に変更、オムツかぶれ予防や、感染防止、不快感の除去に努めております。		出来る限り紙おむつを使用しないよう努力は行っておりますが、全員が布の下着に変更することは難しく、今後の課題です。オムツ着用によつての弊害が大きく、職員もそのことについては周知しております。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	月曜日から土曜日までの間に3回の入浴日を決めておりますが、そのときのご本人の意向により、曜日を変更したりしております。また、入浴したくないご入所者に関しましては、タイミングなど見て誘導を行っております。現在のご入所者の方につきましては、入浴を好まれ、楽しみにしているようです。		現在のご入所者の方は、1～2人の支援が必要であり、状態に応じて職員の対応をしております。入浴時には、看護職員が状態の観察に入浴介助を行うこともあります。職員一人一人プライバシーの保護に努めながら、支援を行っており今後も継続して行きます。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	出来る限り生活のリズムを壊さないように、休息・外出・帰宅など、ご入所者の状態などの観察を行いながら支援をしております。		入所時のアセスメントを通して、日常生活パターンを知り、その人らしく生活できるように支援を行って行きたいと思っております。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	アセスメントや職員の情報などを通じて、ご本人が趣味や活動など意欲を持って出来るように支援をさせていただいております。また、可能な限り生活の協働の場として、楽しく明るく生活が出来るように努力をしております。		読書、計算、折り紙、カラオケ、ビデオ、テレビ、散歩など外出、外泊など、おひとりおひとりにとっての楽しみを発見され継続しております。また、一緒に家事やゲームなど生活の場としての生き甲斐づくりを今後も継続させていきたいと思っております。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	少額ではありますが、ご入所者の方がお使いになれるようにお預かりしており、買い物に出かけたり「おくんち」などで外出した時に零銭や買い物など出来るように支援をしております。		ご入所者の方の紛失や物とられ妄想がある方などもおり、ご家族からお預かりいたしております。その中から、ご本人さんがご自由に使用できるようにしており、各自の出納長にて管理し、1ヶ月に1回は出納帳のコピーと領収書をお渡ししております。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候が良いときなどは出来る限り、散歩や買い物など行っております。ご入所者様のご希望や体調によって支援内容を変えております。		外出を希望されない方も中にはおりますが、天気の良い日は骨が丈夫になることなど説明したり、日課として定期づけたりして工夫をしながら外出しておりますが、出来る限り強制にならないよう、ご本人様の希望に沿っての支援を行っております。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族の方にも、家族会を通してお願いしたりしており、定期的に外出する機会や帰郷するご入所者もいらっしゃいます。また、ホームの行事として普段は行けないところなど計画実行しております。		ご入所者の方の体調や排泄の問題があり、現在は移動時間1時間以内での外出をおこなっております。今後、ご家族も含めた外出など検討して行きたいと考えております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話での対応は現在出来ておりませんが、母の日や年賀状などご本人さんからお手紙を書いてもらったりして、ご本人様とご家族の方の関係がより一層深まるように支援を致しております。		大切なご家族をお預かりしておりますので、関係性の調整など心がけていきたいと思っております。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	交通の便が良いためか、ご来所される方が多いように思います。訪問時は、居室で過ごされたりリビングで一緒に過ごされたりしており、ご来所される事を楽しみにしているようです。		ご家族の方には、広報誌や行事のご案内など差し上げており、ご入所の方と一緒に楽しめるような企画を提案しております。ご来所されるばかりでなく、こちらからご友人や知人の方宅などご訪問できるようになればと思っております。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法令遵守はもとより身体拘束に関しましては、職員の研修や報告会など行っており、職員の意識を高めております。		身体拘束委員会の立ち上げを事業所内で行うように検討していた矢先に、担当者が退職してしまい委員会立ち上げはできておりません。しかし、会議やカンファレンス、ケアプランなど身体拘束などのことも念頭にいった話し合いを行っております。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中においての施錠は行っていません。夜間の居室に関しましても、ご本人が施錠しない限りは、開放しております。しかし、夜間は市街地の為に、外部からの侵入者も考えられる為にビル全体をセコムなどの管理を依頼しており、玄関は施錠をしております。		現在は、施錠なくても職員が目が行き届くように配置しておりますので心配はありません。今後も2階3階の居室の為に、施錠出来ないこともあり、行わないようにしております。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	排泄や更衣、入浴などプライバシーに配慮しながら支援を行っております。また、ご家族のかたの訪問に際しましても配慮して、居室でお話していただく事もあります。		昼間は、リビングや居室で過ごす方などに関しましても時間を見計らい様子確認に行ったり、排泄・入浴・更衣以外にも処置時などもプライバシーを考慮して、居室や浴室で行ったり場所を選んで注意しながら安全に行っております。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご入所時に、針やはさみなど持参され危険を生じる恐れのある方は、一時お預かりをしております。レクリエーションや家事において必要時には、ご本人に手渡し、終了後には職員が針の数の確認や刃物類の確認をして保管させていただいております。		ご入所者の物品以外にも、施設内での消毒液や漂白剤など人体に影響があるものにつきましては、保管場所の設定を行い安全管理に努めております。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故については、職員の意識を高めヒヤリハットなどの報告書を通じて、ヒヤリハット委員会など通して対策を検討しております。また、マニュアルなど作成しており、職員が何時でも確認できるようにしております。一人ひとりの安全対策にしましては、ケアプラン上の問題点から検討して、必要時はケアプランにて繁榮させております。		ヒヤリハット委員会においての書類の提出や解決策など職員で検討したりしております。また、防火訓練は年に2回行い、緊急連絡網の体制を職員はじめ、ご家族の方の連絡網も許可をいただいて作成しております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全職員が年に1回の救急蘇生法の院内研修に参加したり、消防署からの救命講習会の参加を行い、普通救命講習修了書を取っており定期的に参加をしております。		実際に訓練を受けてみて、確認を行ったりしており緊急時の対応に努めております。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時に備え緊急時災害時のマニュアル作成や非常用品の確認など行っております。避難訓練の際にも近隣への通達や参加協力を依頼しており、民生委員の参加などの協力もあっております。		緊急災害時の連絡網を職員、ご家族、民生委員、自治会長など許可をいただきご協力を得ております。また、実際に緊急連絡網の実施訓練を行ったりしており、日頃からの協力支援体制を図っております。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入所時にアセスメントを行い、一人ひとりのリスクを知りケアプラン上の問題点としてケアプランに反映させております。特に夜間の転倒のリスクは高いですが、出来る限り自分らしい生活が出来るように支援させていただいております。		抑圧感のない生活を送る為には、リスクが高くなってきます。情報収集やリスクを予想したり、個別計画に沿ってリスクを軽減を図っております。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常勤の看護師によって状態の確認を行ったり、主治医への連絡を密にしております。また、各勤務帯においても、お一人おひとりの情報を共有できるように申し送りを行っております。		夜間においても体調などの変化時に看護師と連絡をとり、緊急の訪問や主治医への連携など取れております。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お一人お一人の処方に関しましては個人のファイルに効能や副作用など明記しており、また台所にも服薬の効能および副作用が明記したファイルを置き、何時でも確認できるようにしている。		月に1回の往診や受診時など服薬の変更には、必ず申し送りや連絡帳に記入したりして確認を行っております。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	全身状態の把握の為にも排泄は重要であり、高齢者の疾病など発症の原因にもなるために、排泄チェックや食事やおやつなどの調整を行っております。		一日の水分量は1300mlを目安に、食事やおやつ時の水分の管理を行ったり、少量ではありますが寒天の活用を行ったり、散歩や外出などの運動に心がけたりしております。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔内の不衛生が、あらゆる病因になる可能性が高く、義歯利用の方もそうでない方も食後や就寝前の口腔のケアについては、お一人おひとりに自分で出来る範囲を行っており、その後の支援を職員で行っております。		個々に支援の内容は変わっていきますが、義歯の洗浄や消毒殺菌の為に洗浄液につけたり、口腔内のケアを行ったり、舌ブラシの活用をしたりと支援の内容はお一人おひとりに合わせて支援をさせていただいております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の内容については、ご入所者様同じメニューでカロリー計算されておりますが、食事の形態が違うために必要に応じて対応しております。水分量に関しましては、一日に1300mlを目安にしておりますが、習慣や状態によって変化する為に、臨機応変に対応しております。		毎食、食事量のチェックを行っております。また、嗜好にあわせておやつを提供を行ったり、お茶に関しましても不足がちの方は回数の工夫など行っております。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルに沿って対応できるように、職員が何時でも確認できるような場所に保管しております。また、常勤の看護師により衛生指導や学習会など行ったり研修会の参加をしたりと、職員自身が感染源にならないよう、また集団感染などの恐れがないようにしております。		まずは職員が媒介者にならないように、日常からの健康管理や予防注射など受けております。また、調理、入浴、排泄などの介助後も手洗いの励行に勤めております。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	介助など全ての行為前後の手洗い励行を行っており、調理器具の消毒やフキンやまな板などの消毒、感染源になりうる恐れのある物に食事準備する行為など禁止を行っております。		新鮮で安全な食材の提供につきましては、産地直送の店にご入所者の方と一緒に買い物に行ったり、食材を取り入れている業者とは、現在問題になっている中国産や薬物混入情報など情報交換をしており、確認を取りながら提供いたしております。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	他事業所と共有の玄関がありますが、実際は2階のエレベーターからグループホーム専用の玄関である為に、2階玄関には絵画や季節の花など、ご入所者の方が外出で帰宅した時やご家族近隣の方などの訪問の際に、ほっと安心できるような玄関の工夫を行っております。		共有の場所は、通路ではありますがグループホームの表示がわかることを目的としております。2階からグループホームの専用のスペースになっており、職員の工夫にて植物などを置き、落ち着けるスペースづくりをしております。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間が居心地が良くなるような環境整備をしております。絵画や作品、写真、名言、カレンダーなど季節を取り入れ、楽しく生活が(出来るように検討しながら、いろいろな工夫をしております。		共有の場所の清潔保持に努めており、採光も場所により変化させております。リビングが一番採光が良く、天気や外での状況がわかるようになっており、ランタンやおくんちなどリビングの窓から見物できるようになっており、皆様にも喜んでいただいております。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間の中でも、ソファーや畳、廊下の椅子や其々ご入所者の方が好む場所での設定が出来るようにしております。また、ご家族の方が来られた時には、リビングでもご家族で楽しむ事が出来るようにしております。		共有の部分ではないのですが、廊下にソファーを置き仲が良いお友達同士で会話出来るようにしております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時には、馴染みのものがあったほうが安心される事などもあり、家具や置物などご家族の方と相談を行った上で家庭での馴染みのものを持ってきていただいております。		ご家族の方をお願いをして馴染みのものを持ってきていただいておりますが、箆笥類など大きいものに関しては、配送が困難なこともあり実際は全員は行えていないのが現状ですが、少しでも馴染みのものを持ってきていただきように相談をしております。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	24時間換気を行っておりますが、居室や各部屋の掃除の時は、窓を開放し自然の空調を行っております。また、室内の温度設定は外気温より5度前後を目安に調整しております。		入浴やトイレなど肌を露出する場合などは、特に温冷の温度差には注意をしております。浴室、脱衣所には冷暖房をトイレなども廊下から温度調整が出来るように冷暖房を設置いたしました。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレも建物の左右に設置しており、生活リハビリが出来るように手摺などをつけ、自立歩行が可能になるように工夫しております。歩行器や車椅子など自操して廊下や居室に行けるように廊下の幅も検討しております。		トイレ後や移動時に廊下で体操や歌を歌ったり出来るように、工夫をして楽しめるようにしております。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレや居室がわかるように、トイレのドアの色の工夫や居室までの道案内など職員が工夫しております。また、リビングの定位置の場所がわかるように、自分の物を置いたり、座布団を敷いたりなどの工夫もしております。		ご本人の能力や障害により支援する内容は、お一人おひとり違う為に、カンファレンスやケア会議などを通して調整をしております。出来る限りご本人で出来るような自立支援を今後も検討しながら行って行きたいと思っております。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭がないためになかなか外回りの活動は困難ではありますが、プランターなど活用して花を植えたり、玄関に草花を飾ったりと季節感や育てる楽しみが持てるような工夫をしております。		立地条件や構造上の問題から、利用に制限があるために、外の環境を利用して、施設前の公園の散歩や日向ぼっこなど、人との関わりや空気、景色などを楽しんでおります。

サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当グループホームでは、代表者をはじめ常勤の看護師など医療関係の職員がおり、医療面での充実が出来るように対応しております。理学療法士や作業療法士などの指導をうけ、個別機能訓練など運動機能や精神機能の低下を少しでも防止できるように努力致しております。また、介護職員におきましても介護福祉士などの資格を持った職員が介護に従事しており、レクレーションや行事など状態にあった計画の立案実施などに積極的に取り組んでおります。これからのグループホームにおいて病症状の重度化が考えられ、ご本人様やご家族の方のご希望に答えられる様に日々努力しております。